

<別紙3：作物残留試験成績>

作物名(分析部位) 実施年	試験 圃場数	使用量 (g ai/ha)	回数 (回)	PHI (日)	残留値(mg/kg)	
					オキシリニック酸	
					最高値	平均値
水稻(玄米) 1988年度	2	300WP~400D	3	45	<0.01	<0.01
水稻(稲わら) 1988年度	2	300WP~400D	3	45	3.47	1.72
水稻(玄米) 1990年度	2	300WP~400D	3 3	21 30	0.07 0.08	0.035 0.03*
水稻(稲わら) 1990年度	2	300WP~400D	3 3	21 30	5.36 3.69	2.76 1.76
ばれいしょ(塊茎) 1988年度	2	400 WP	4 4	7 14	0.03 0.02	0.025 0.018*
こんにゃく(球茎) 1989年度	2	400 WP	5 5	15-17 29-31	0.08 0.05	0.035* 0.022*
こんにゃく(球茎) 1991年度	2	200~400 WP	6 6	14 21	0.17 0.17	0.09 0.07
だいこん(根部) 1988年度	2	150~300 WP	3	21	0.02	0.01*
だいこん(葉部) 1988年度	2	150~300 WP	3	21	0.99	0.641
はくさい(茎葉) 1989年度	2	400 WP	3 3 3	7 14 21	0.61 0.46 0.26	0.48 0.238 0.15
はくさい(茎葉) 1991年度	2 3 3	150~300 WP	2 2 2	7 14 21	0.54 0.38 0.12	0.382 0.154 0.05*
キャベツ(葉球) 1990年度	2	400 WP	3 3 3	7 14 21	0.73 0.21 0.04	0.292 0.072 0.018*
キャベツ(葉球) 1991年度	2	240~300WP	3 3	7 14	0.25 0.20	0.17 0.13
チンゲンサイ(茎葉) 1995年度	2	400~666 WP	2 2 2	7 14 21	0.98 0.209 0.103	0.672 0.174 0.054*
ブロッコリー(花蕾) 1992年度	2	200~400 WP	2 2	14 21	0.07 0.01	0.031 0.01*
はなっこりー(花蕾部) 2003年度	2	200 WP	2 2 2 2	1 3 7 14	0.73 0.28 0.08 <0.02	0.525 0.235 0.06 <0.02
レタス(茎葉) 1991年	2	150 WP	2 2	14 21	0.28 0.19	0.13* 0.095
レタス(茎葉) 1993年度	2	134~400 WP	2 2	14 21	0.15 0.07	0.065 0.035*
たまねぎ(鱗茎) 1988年度	2	300 WP	5 5	7 14-17	0.02 0.01	0.012* 0.01*
根深ねぎ(茎葉) 1995年度	2	150~200 WP	4	21	0.89	0.28
葉ねぎ(茎葉) 1995年度	2	200 WP	4	21	0.29	0.145

ニンニク(鱗茎) 2001 年度	2	500 WP	2 2 2	7 14 21	<0.01 <0.01 <0.01	<0.01 <0.01 <0.01
にんじん(根部) 1994 年度	2	200~400 WP	3 3 3	7 14 21	0.05 0.02 0.01	0.027 0.018* 0.01*
セロリ(茎葉) 1993・1994 年度	2	150~250 WP	3 3 3	14 21 30	0.44 0.20 0.11	0.185 0.092 0.04*
なし(果実) 1999 年度	2	600 WP	3 3 3	45-48 60-63 75-78	0.07 0.04 0.02	0.06 0.032 0.015*
もも(果肉) 2006 年度	2	700~800 WP	3 3 3	7 14 30	0.03 0.09 0.08	0.06 0.05 0.07*
もも(果皮) 2006 年度	2	700~800 WP	3 3 3	7 14 30	11.0 4.67 4.79	8.20 4.04 3.51
うめ(果実) 2003・2006 年度	1 3 1 2	390~800 WP	3 3 3 3	7 14 21 30	9.87 10.7 1.71 4.95	9.04 3.91 1.49 2.36

D: 粉剤、WP: 水和剤

- ・全データが定量限界未満の平均値を算出する場合は定量限界値を平均し、<を付した。
- ・複数の試験機関で、定量限界が異なる場合の最高値は、大きい値を示した（例えば A 機関で 0.006 検出され、B 機関で<0.008 の場合、<0.008 とした）。
- ・一部に定量限界未満（例えば<0.01）を含むデータの平均値は定量限界値（例えば 0.01）を検出したものとして計算し、*を付した。

<別紙4：推定摂取量>

作物名	残留値 (mg/kg)	国民平均 (体重：53.3kg)		小児(1~6歳) (体重：15.8kg)		妊婦 (体重：55.6kg)		高齢者(65歳以上) (体重：54.2kg)	
		ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)	ff (g/人/日)	摂取量 (μg/人/日)
米	0.035	185.1	6.48	97.7	3.42	139.7	4.89	188.8	6.61
ばれいしょ	0.025	36.6	0.92	21.3	0.53	39.8	1.00	27	0.68
こんにゃく	0.09	12.9	1.16	5.7	0.51	11	0.99	13.4	1.21
だいこん(根)	0.01	45	0.45	18.7	0.19	28.8	0.29	58.5	0.59
だいこん(葉)	0.641	2.2	1.41	0.5	0.32	0.9	0.58	3.4	2.18
はくさい	0.48	29.4	14.11	10.3	4.94	21.9	10.51	31.7	15.22
キャベツ	0.292	22.8	6.66	9.8	2.86	22.9	6.69	19.9	5.81
チンゲンサイ	0.672	1.4	0.94	0.3	0.20	1	0.67	1.9	1.28
はなやさい (ブロッコリー)	0.031	4.5	0.14	2.8	0.09	4.7	0.15	4.1	0.13
その他のアブラナ科野菜	0.525	2.1	1.10	0.3	0.16	0.2	0.11	3.1	1.63
レタス	0.13	6.1	0.79	2.5	0.33	6.4	0.83	4.2	0.55
たまねぎ	0.012	30.3	0.36	18.5	0.22	33.1	0.40	22.6	0.27
ねぎ	0.28	11.3	3.16	4.5	1.26	8.2	2.30	13.5	3.78
ニンニク	0.01	0.3	0.00	0.1	0.00	0.1	0.00	0.3	0.00
にんじん	0.027	24.6	0.66	16.3	0.44	25.1	0.68	22.3	0.60
セロリ	0.185	0.4	0.07	0.1	0.02	0.3	0.06	0.4	0.07
日本なし	0.06	5.1	0.31	4.4	0.26	5.3	0.32	5.1	0.31
もも	8.20	0.5	4.1	0.7	5.74	4.0	32.8	0.1	0.82
うめ	9.04	1.1	9.94	0.3	2.71	1.4	12.6	1.6	14.5
合計			52.8		24.2		75.9		56.2

注) ・残留値は、申請されている使用時期・回数のうち最大の残留を示す各試験区の平均残留値を用いた(参照 別紙3)。

- ・ff：平成10年~12年の国民栄養調査(参照65~67)の結果に基づく農産物摂取量(g/人/日)。
- ・摂取量：残留値及び農産物摂取量から求めたオキシロニック酸の推定摂取量(μg/人/日)。
- ・その他のアブラナ科野菜の残留値は、はなっこりの値を用いた。

<別紙5：動物用医薬品の用法・用量>

医薬品	使用対象動物	用法及び用量	使用禁止期間
オキシリン酸を有効成分とする飼料添加剤(懸濁水性剤を除く。)	牛(生後50日を超えるものを除く。)	1日量として体重1kg当たり20mg以下の量を飼料に混じて経口投与すること。	食用に供するためにと殺する前5日間
	豚	1日量として体重1kg当たり20mg以下の量を飼料に混じて経口投与すること。	食用に供するためにと殺する前5日間
	鶏(産卵鶏を除く。)	飼料1t当たり500g以下の量を混じて経口投与すること。	食用に供するためにと殺する前5日間
	すずき目魚類	1日量として体重1kg当たり30mg以下の量を飼料に混じて経口投与すること。	食用に供するためには水揚げする前16日間
	にしん目魚類(海水中で養殖されているもの)	1日量として体重1kg当たり20mg以下の量を飼料に混じて経口投与すること。	食用に供するためには水揚げする前21日間
	にしん目魚類(淡水中で養殖されているもの。ただし、あゆを除く。)	1日量として体重1kg当たり20mg以下の量を飼料に混じて経口投与すること。	食用に供するためには水揚げする前21日間
	うなぎ目魚類(うなぎにあつては、食用に供するために水揚げする前25日間は飼育水の交換率が1日平均50%以上の条件におかれるもの)	1日量として体重1kg当たり20mg以下の量を飼料に混じて経口投与すること。	食用に供するためには水揚げする前25日間
	こい目魚類	1日量として体重1kg当たり10mg以下の量を飼料に混じて経口投与すること。	食用に供するためには水揚げする前28日間

医薬品	使用対象動物	用法及び用量	使用禁止期間
オキシリン酸を有効成分とする飼料添加剤(懸濁水性剤を除く。)	あゆ	1日量として体重1kg当たり20mg以下の量を飼料に混じて経口投与すること。	食用に供するために水揚げする前14日間
	くるまえび	1日量として体重1kg当たり50mg以下の量を飼料に混じて経口投与すること。	食用に供するために水揚げする前30日間
オキシリン酸を有効成分とする飼料添加剤(懸濁水性剤)	すずき目魚類	1日量として体重1kg当たり20mg以下の量を飼料に混じて経口投与すること。	食用に供するために水揚げする前16日間
オキシリン酸を有効成分とする飲水添加剤	鶏(産卵鶏を除く。)	1日量として体重1kg当たり10mg以下の量を飲水に混じて経口投与すること。	食用に供するためにと殺する前5日間
オキシリン酸を有効成分とする強制経口投与剤	豚(生後1月を超えるものを除く。)	1日量として体重1kg当たり20mg以下の量を強制的に経口投与すること。	食用に供するためにと殺する前5日間
オキシリン酸を有効成分とする薬浴剤	うなぎ	水1t当たり5g以下の量を溶かして薬浴すること。	食用に供するために水揚げする前25日間
	あゆ	水1t当たり10g以下の量を溶かして薬浴すること。	食用に供するために水揚げする前14日間

<参照>

- 1 食品、添加物等の規格基準（昭和 34 年厚生労働省告示第 370 号）の一部を改正する件（平成 17 年 11 月 29 日付、平成 17 年厚生労働省告示第 499 号）
- 2 農薬抄録オキシリニック酸：日本農薬株式会社、2005 年、未公表
- 3 オキシリニック酸の吸収、分布および排泄：田辺製薬㈱、1973 年、未公表
- 4 オキシリニック酸連続投与時の血中濃度と臓器内分布：田辺製薬㈱、1973 年、未公表
- 5 オキシリニック酸のラットにおける代謝試験（Ⅰ）：1 回投与試験：第一化学薬品株式会社、1990 年、未公表
- 6 オキシリニック酸のラットにおける代謝試験（Ⅱ）：連続投与試験：第一化学薬品株式会社、1990 年、未公表
- 7 オキシリニック酸の代謝：田辺製薬㈱、1974 年、未公表
- 8 オキシリニック酸の水稻における代謝：住友化学工業株式会社、1989 年、未公表
- 9 種子処理したオキシリニック酸の水稻における移行性：住友化学工業株式会社、1988 年、未公表
- 10 オキシリニック酸の白菜における代謝：住友化学工業株式会社、1989 年、未公表
- 11 オキシリニック酸の土壌からダイコンへの吸収移行：第一化学薬品株式会社、1988 年、未公表
- 12 オキシリニック酸の水田土壌における代謝：住友化学工業株式会社、1989 年、未公表
- 13 オキシリニック酸の畑地土壌における代謝：住友化学工業株式会社、1989 年、未公表
- 14 オキシリニック酸の土壌表面における光分解：住友化学工業株式会社、1988 年、未公表
- 15 オキシリニック酸の土壌からの溶脱性：住友化学工業株式会社、1988 年、未公表
- 16 オキシリニック酸の土壌における吸着と脱着：住友化学工業株式会社、1988 年、未公表
- 17 オキシリニック酸土壌吸着係数試験報告書：化学分析コンサルタント、1993 年、未公表
- 18 オキシリニック酸の土壌懸濁培養液中における代謝：住友化学工業株式会社、1989 年、未公表
- 19 オキシリニック酸の加水分解及び水中における光分解：住友化学工業株式会社、1989 年、未公表
- 20 オキシリニック酸の水中光分解運命試験（GLP 対応）：PTRL-West, Inc. (米)、2004 年、未公表
- 21 土壌残留試験結果：住友化学工業株式会社、1987、1988 年、未公表

- 22 作物残留試験結果：住友化学工業株式会社、1988～2003 年、未公表
- 23 後作物残留試験結果：住友化学工業株式会社、1989、1990 年、未公表
- 24 乳汁試験結果：財団法人畜産生物科学安全研究所、1988 年、未公表
- 25 オキシリニック酸原体の生体の機能に及ぼす影響に関する試験 (GLP 対応)：
(財)残留農薬研究所、1988 年、未公表
- 26 オキシリニック酸原体のラットにおける急性経口毒性試験(試験 1) (GLP 対
応)：住友化学工業株式会社、1987 年、未公表
- 27 オキシリニック酸原体のラットにおける急性経口毒性試験(試験 2) (GLP 対
応)：住友化学工業株式会社、1987 年、未公表
- 28 オキシリニック酸原体のマウスにおける急性経口毒性試験(GLP 対応)：住友化
学工業株式会社、1987 年、未公表
- 29 オキシリニック酸原体のラットにおける急性経皮毒性試験 (GLP 対応)：住友
化学工業株式会社、1987 年、未公表
- 30 オキシリニック酸原体のラットにおける急性吸入毒性試験 (GLP 対応)：(財)
残留農薬研究所、1987 年、未公表
- 31 Yanada T., Nakamura J., Okuno Y., Hsokawa S., Matsuo M., Yamada H.,
Ohta M. A possible mechanism for the increase in serum luteinizing
hormone levels in male rats by oxolinic acid. *Toxicol. Appl. Pharmacol.*
(1995) 134(1):35-42.
- 32 Garcia de Mateos-Verchere J., Vaugeois JM., Naudin B., Costentin J.
Behavioural and neurochemical evidence that the antimicrobial agent
oxolinic acid is a dopamine putake inhibitor. *Eur. Neuropsychopharmacol.*
(1988) 8(4):255-259.
- 33 Thiebot MH., Kloczko J., Chermat R., Simon P., Soubrie P. Oxolinic acid
and diazepam: their reciprocal antagonism in rodents.
Psychopharmacology (1980) 67(1):91-95.
- 34 オキシリニック酸原体中の混在物イソ体のマウスにおける急性経口毒性試験
(GLP 対応)：住友化学工業株式会社、1987 年、未公表
- 35 オキシリニック酸原体中の混在物 N-メチル体のマウスにおける急性経口毒性
試験 (GLP 対応)：住友化学工業株式会社、1988 年、未公表
- 36 オキシリニック酸原体中の混在物脱エチル体のマウスにおける急性経口毒性試
験 (GLP 対応)：住友化学工業株式会社、1988 年、未公表
- 37 オキシリニック酸原体中の混在物アミド体のマウスにおける急性経口毒性試験
(GLP 対応)：住友化学工業株式会社、1988 年、未公表
- 38 オキシリニック酸原体中の混在物脱メチレン体のマウスにおける急性経口毒性
試験 (GLP 対応)：住友化学工業株式会社、1989 年、未公表
- 39 オキシリニック酸原体のウサギの眼及び皮膚に対する刺激性試験 (GLP 対
応)：住友化学工業株式会社、1987 年、未公表
- 40 オキシリニック酸原体のモルモットにおける皮膚感作性試験 (GLP 対応)：

- 住友化学工業株式会社、1987 年、未公表
- 41 オキシリニック酸原体のラットにおける 13 週間亜急性毒性試験 (GLP 対応) :
(財) 残留農薬研究所、1988 年、未公表
 - 42 オキシリニック酸原体のマウスにおける 13 週間亜急性毒性試験 (GLP 対応) :
(財) 残留農薬研究所、1988 年、未公表
 - 43 オキシリニック酸原体のイヌにおける 3 カ月間亜急性経口毒性試験 (GLP 対応) :
(財) 残留農薬研究所、1989 年、未公表
 - 44 オキシリニック酸原体のイヌにおける 1 年間慢性経口毒性試験 (GLP 対応) : (財)
残留農薬研究所、1989 年、未公表
 - 45 オキシリニック酸原体のラットにおける 24 カ月間慢性毒性・発がん性試験 (GLP
対応) : (財) 残留農薬研究所、1990 年、未公表
 - 46 オキシリニック酸原体のマウスにおける 18 カ月間経口発がん性試験 (GLP 対
応) : (財) 残留農薬研究所、1990 年、未公表
 - 47 オキシリニック酸原体のラットにおける 2 世代繁殖性試験 (GLP 対応) : (財)
残留農薬研究所、1990 年、未公表
 - 48 オキシリニック酸原体のラットにおける 2 世代繁殖性試験 : 追加試験 (GLP 対
応) : (財) 残留農薬研究所、1990 年、未公表
 - 49 オキシリニック酸原体のラットにおける催奇形性試験 (GLP 対応) : (財) 残
留農薬研究所、1989 年、未公表
 - 50 オキシリニック酸原体のウサギにおける催奇形性試験 (GLP 対応) : 信州動物
実験センター、1988 年、未公表
 - 51 オキシリニック酸原体の細菌を用いた DNA 修復試験 (GLP 対応) : 住友化学工
業株式会社、1988 年、未公表
 - 52 オキシリニック酸原体の細菌を用いた復帰変異性試験 : 住友化学工業株式会社、
1988 年、未公表
 - 53 オキシリニック酸原体のチャイニーズハムスター肺由来の培養細胞 (V79) を用
いた遺伝子突然変異試験 (GLP 対応) : 住友化学工業株式会社、1986 年、未公
表
 - 54 オキシリニック酸原体のチャイニーズハムスター肺由来の培養細胞を用いた *in*
vitro 染色体異常試験 (GLP 対応) : 野村生物科学研究所、1988 年、未公表
 - 55 オキシリニック酸原体のラット肝細胞を用いた *in vitro* 不定期 DNA 合成試験
(GLP 対応) : 住友化学工業株式会社、1990 年、未公表
 - 56 オキシリニック酸原体の核分離法を用いた *in vitro* 不定期 DNA 合成試験 (GLP
対応) : 住友化学工業株式会社、1990 年、未公表
 - 57 オキシリニック酸原体のマウス骨髓細胞を用いた小核試験 (GLP 対応) : 野村生
物科学研究所、1987 年、未公表
 - 58 オキシリニック酸原体のマウス骨髓細胞を用いた *in vivo* 姉妹染色体交換試験
(GLP 対応) : Hazleton Washington, Inc., 1991 年、未公表
 - 59 オキシリニック酸原体中の混在物イソ体の細菌を用いた復帰変異試験 (GLP 対

- 応)：住友化学工業株式会社、1988 年、未公表
- 60 オキシリニック酸原体中の混在物 N-メチル体の細菌を用いた復帰変異試験 (GLP 対応)：住友化学工業株式会社、1988 年、未公表
- 61 オキシリニック酸原体中の混在物脱エチル体の細菌を用いた復帰変異試験 (GLP 対応)：住友化学工業株式会社、1988 年、未公表
- 62 オキシリニック酸原体中の混在物アミド体の細菌を用いた復帰変異試験 (GLP 対応)：住友化学工業株式会社、1988 年、未公表
- 63 オキシリニック酸原体中の混在物脱メチレン体の細菌を用いた復帰変異試験 (GLP 対応)：住友化学工業株式会社、1990 年、未公表
- 64 オキシリニック酸原体のラット精巣腫瘍の発現機作検討試験：住友化学工業株式会社、1994、1995 年、未公表
- 65 国民栄養の現状－平成 10 年国民栄養調査結果－：健康・栄養情報研究会編、2000 年
- 66 国民栄養の現状－平成 11 年国民栄養調査結果－：健康・栄養情報研究会編、2001 年
- 67 国民栄養の現状－平成 12 年国民栄養調査結果－：健康・栄養情報研究会編、2002 年
- 68 食品健康影響評価について (URL：http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-uke-oxolinic_acid-180904.pdf)
- 69 第 158 回食品安全委員会 (URL：<http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai158/index.html>)
- 70 第 6 回食品安全委員会農薬専門調査会総合評価第二部会 (URL：http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougou2_dai6/index.html)
- 71 オキシリニック酸の食品健康影響評価資料の追加提出について：住友化学株式会社、2007 年、未公表
- 72 第 15 回食品安全委員会農薬専門調査会総合評価第二部会 (URL：http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/sougou2_dai15/index.html)
- 73 第 31 回食品安全委員会農薬専門調査会幹事会 (URL：http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kannjikai_dai31/index.html)
- 74 オキシリン酸 食品健康影響評価に関する資料概要：大日本住友製薬株式会社、未公表
- 75 COMMITTEE FOR VETERINARY MEDICINAL PRODUCTS OXOLINIC ACID SUMMARY REPORT (1),(2),(4),(5)、EMEA
- 76 動物用医薬品等データベース (URL：http://www.nval.go.jp/asp/asp_dbDR_idx.asp)
- 77 人によるオキシリン酸の代謝：Warner-Lambert Reseach Institute,F.J.Dicarulo et al.、未公表
- 78 子牛におけるオキシリン酸経口投与の安全性と体内残留試験成績：田辺製薬株式会社、未公表

- 79 豚におけるオキシリン酸経口投与の安全性と体内残留試験成績、田辺製薬株式会社、未公表
- 80 鶏雛におけるオキシリン酸飼料中添加投与の安全性と体内残留試験成績、田辺製薬株式会社、未公表
- 81 微細化オキシリン酸の鶏大腸菌症に対する効果ならびに鶏における吸収性および残留性、田辺製薬株式会社、未公表
- 82 TO-77S を投与した鶏におけるオキシリン酸の残留、有限会社京都動物検疫センター、未公表
- 83 TO-77S 経口投与によるオキシリン酸の子豚への残留試験、財団法人畜産生物科学安全研究所、1989 年、未公表
- 84 TO-77S 経口投与によるオキシリン酸の子豚への残留試験、財団法人畜産生物科学安全研究所、1990 年、未公表
- 85 オキシリン酸のハマチ体内残留試験、和歌山県水産増殖試験場、未公表
- 86 経口投与によるオキシリン酸のハマチ組織内濃度試験、兵庫県水産試験場、未公表
- 87 オキシリン酸に関する各種試験成績、岐阜県水産試験場、1972 年、未公表
- 88 オキシリン酸の魚類抗菌剤としての適正試験報告（１）・（２）、長野県水産指導所、1972 年、未公表
- 89 オキシリン酸を鮎に経口投薬した時の組織内濃度、神奈川県淡水魚増殖試験場、未公表
- 90 Oxolinic Acid の魚類感染症治療剤としての応用に関する研究－Ⅰ．抗菌活性，治療効果，ならびに魚体内消長、遠藤俊夫、萩島健次、早坂治男、金子修司、大島慧、Bulletin of Japanese Society of Scientific Fisheries. (1973) 39(2):165-171
- 91 オキシリン酸の経口投薬による鯉組織内濃度、神奈川県淡水魚増殖試験場、未公表
- 92 オキシリン酸のウナギ投与時における体内残留濃度、千葉県内湾水産試験場内水面分場、未公表
- 93 TO-77 薬浴剤のアユにおける基礎試験、和歌山県内水面漁業センター、未公表
- 94 オキシリン酸の薬浴によるウナギ残留性試験、田辺製薬株式会社、未公表
- 95 オキシリン酸の経口投与によるニジマス・アユの残留性試験、岐阜県衛生研究所、未公表
- 96 高速液体クロマトグラフィによるブリ組織中のオキシリン酸の定量ならびに微細化によるオキシリン酸のバイオアベイラビリティの向上、田辺製薬株式会社、未公表
- 97 TO-77S のブリ体内残留性試験、香川県水産試験場、1986 年、未公表
- 98 新抗菌剤オキシリン酸の飼料中への添加が産卵に及ぼす影響ならびに鶏卵中の残留、京都府立大学、1972 年、未公表
- 99 オキシリン酸の急性毒性、田辺製薬株式会社、未公表

- 100 オキシリン酸の亜急性毒性試験、田辺製薬株式会社、未公表
- 101 オキシリン酸の慢性毒性試験、田辺製薬株式会社、未公表
- 102 新抗菌剤オキシリン酸の寄生学的安全性の検討、岐阜大学、未公表
- 103 平成 18 年度食品安全確保総合調査：動物用抗菌性物質の微生物学的影響についての調査、食品安全委員会
- 104 食品健康影響評価について（URL：http://www.fsc.go.jp/hyouka/hy/hy-uke-oxolinicacid_191226.pdf）
- 105 作物残留試験結果：住友化学工業株式会社、2003~2006 年、未公表
- 106 第 221 回食品安全委員会（URL：<http://www.fsc.go.jp/iinkai/i-dai221/index.html>）
- 107 第 34 回食品安全委員会農薬専門調査会幹事会（URL：http://www.fsc.go.jp/senmon/nouyaku/kanjikai_dai34kai/index.html）

